



※令和7年2月17日～4月30日は休館します。

春

鳥取県立博物館再スタート記念企画  
とっとり藩と城  
歴史・自然史・美術工芸

2025年5月1日(木)～6月29日(日)  
休館日:5月5日(月・祝)・6月2日(月)を除く毎週月曜日、  
5月7日(水)

一般/180円 (団体/150円)

(主催)鳥取県立博物館

国内屈指の大名家文書“鳥取藩政資料”や旧藩主池田家ゆかりの大名道具、絵画など美術工芸品を用い、鳥取県を形づくった鳥取藩や鳥取城の歴史や文化を紹介します。また、久松山の自然についても紹介します。



鳥取新府久松金城 (部分) 鳥取県立博物館蔵

夏

とことん！昆虫展

2025年7月12日(土)～9月15日(月・祝)

休館日:7月14日(月)・22日(火)・28日(月)  
8月4日(月)・18日(月)・25日(月)、9月1日(月)・8日(月)

開館延長日:会期中の土曜日(19時まで開館)

一般/700円 (団体・前売/500円)

(主催)昆虫展実行委員会、読売新聞社

世界から100万種以上が知られている昆虫は、その美しい色や不思議な形から多くの人々の関心を集めてきました。本企画展では、大型模型やハイスピードカメラによる高精細映像を通して昆虫のおもしろさを体感していただくとともに、日本や世界各地の昆虫標本、さらには生きた昆虫の生体展示を通して、その多様性や魅力を紹介します。



ヘラクレスオオカブトの生体展示 撮影:海野和男

秋

大カプコン展  
世界を魅了するゲームクリエイション(仮)

2025年10月19日(日)～12月7日(日)

休館日:10月20日(月)・27日(月)、  
11月4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)、12月1日(月)

入場料は7月頃発表

(主催)大カプコン展実行委員会、読売新聞社

家庭用テレビゲーム機の登場から半世紀、急激に変化するゲームは今や文化であり、テクノロジーと表現の領域を横断する総合芸術です。1983年創業の世界的ゲームソフトメーカーであるカプコンの歴史を振り返ることは、日本が誇るゲーム文化を捉えなおし、社会や教育の未来を考えていく上でも重要です。

本展は、カプコンのゲームクリエイションに注目し、その原点から最新の技術まで総合的に紹介します。開発者たちの「手」による企画書や原画、グラフィックワーク、日々進化するテクノロジーなど、ゲーム誕生の壮大なプロセスとクリエイターたちの想像力と実現力を惜しみなく展覧会という場に投入します。

※タイトル、内容は変更になる場合があります。



©CAPCOM

冬

江戸絵画から『ブリロの箱』まで  
鳥取県があつめた  
美術コレクションのバリエーション！(仮)

鳥取県立美術館による企画展(会場:鳥取県立博物館)

2026年2月28日(土)～3月22日(日)

休館日:月曜日

一般/400円 (団体・前売/300円)

(主催)鳥取県立美術館 (共催)鳥取県立博物館

江戸時代の絵師たちの優品から、近代以降の前田寛治や辻寛堂など鳥取県ゆかりの美術家たちの代表作、そしてウォーホルの『ブリロの箱』などを紹介します。



前田寛治《棟梁の家族》鳥取県立美術館蔵



通常展示も一部展示を刷新!



一ノ蔵 ととりの自然史  
二ノ蔵 ととりの歴史と民俗  
三ノ蔵 ととりの藩と城

一般/180円(団体/150円)

次の方は無料:  
大学生以下/70歳以上/学校教育活動での引率者/  
障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者

開館時間

9:00～17:00 (入館は16:30まで) ただし、夏の企画展期間中の土曜日は 19:00 まで開館

問い合わせ先

鳥取県立博物館 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地

TEL 0857(26)8042(代) FAX 0857(26)8041 E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

最新情報はホームページ等でご確認ください



博物館 HP

